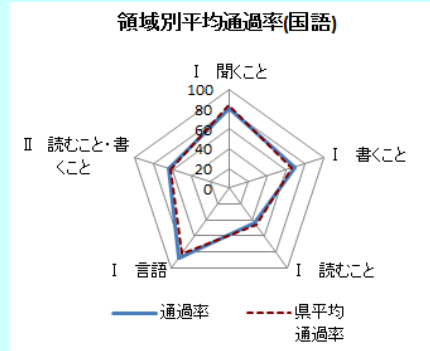


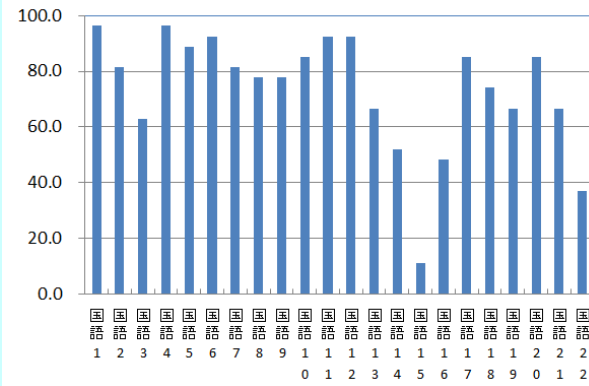
指導方法等の改善計画について〔国語科〕

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校73.6%, 県 71.8%)

領域別平均通過率



教科書の平均通過率



本年度の結果について

○全体的な傾向について
 国語の結果において、タイプⅠは、75.7%、タイプⅡは、63.9%の通過率となっている。タイプⅠの通過率が60%をこえていることから、基礎的・基本的内容はおおむね定着しているといえる。しかし、「読むこと」の領域の問題の通過率が低く、課題がみられた。タイプⅡの通過率は、昨年度の29.2%から63.9%と数値的には大きく上がり、一定の成果がみられたと考える。

○昨年度の課題への取り組みの成果・課題
 昨年度は、タイプⅡの「書くこと」の領域「引用したり、読み取った複数の内容を関係づけたりして自分の考えを書く」ことに課題が見られたので、「条件を満たした文章を書かせる」ことに取り組んだ。本年度は、記述する問題の通過率は、66.7%、37.0%となり、数値的には上がったが、依然として「書く」領域に課題がみられる。タイプⅠにおいても「書く」領域に課題がある。

重点課題

- 【課題1】
- ・領域「読むこと」の文章の内容を的確に押さえ要旨をとらえることに課題がある。「中心となる語や文をとらえて正しく読む。(中心となる語を書き抜くことができない)」(通過率11.1%)
 - ・読み返さず、主述のねじれに気が付いていない児童が多いと考えられる。(通過率44.4%)
- 【課題2】
- ・条件を満たした文章を書くという学習が十分でなく、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くことに課題がある。(通過率18.5%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

- 【課題1】
- ・該当学年の指導事項だけでなく、レディネステストなどを行い、定着していない力を補いながら指導していく。そのため、各学年での指導事項を明確にまとめておき、読解スキルの系統的な指導を行えるようにする。
- 【課題2】
- ・中心となる語や文をとらえさせるために、囲み・線引き作業をさせる。そのとらえた語や文を取り入れた文章構成で記述できるようにし、領域「読むこと」と、「書くこと」を関連付けて、各単元の学習に適切に取り入れる。

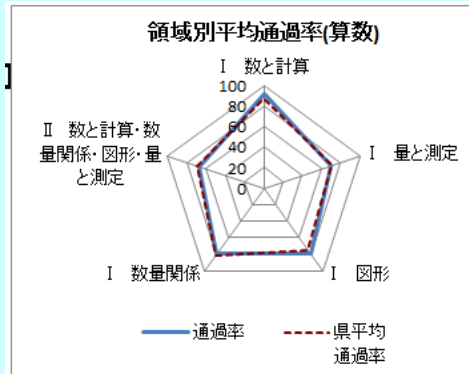
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	H26 基礎基本定着状況調査 5年生				標準学力「読むこと」 全学年		単元テスト
目標値	100%				80.0%		80.0%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	条件作文を書き、 課題を把握する。	課題に取り組む。			標準学力「読むこと」 全学年	H26 基礎基本定着状況調査 4年生	条件作文を書く。
目標値					80.0%	75.0%	60%以上の児童を 100%
実施後数値							

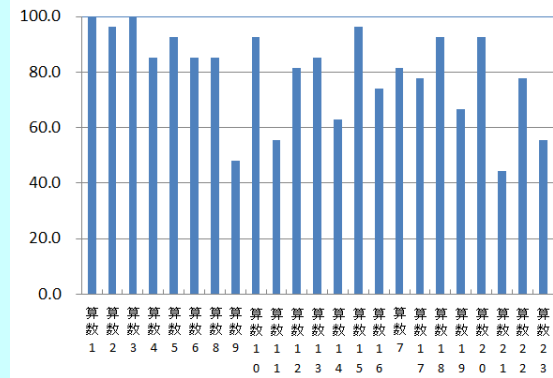
指導方法等の改善計画について [算数科]

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 79.5%, 県 %)

領域別平均通過率



算数



本年度の結果について

- 全体的な傾向について
算数の結果において、タイプⅠは82.1%、タイプⅡは67.6%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な内容については定着が図られていると考えられるが、文章を読み取ったり、わけを文章で表したりすることに課題がみられた。
- 昨年度の課題への取り組みの成果・課題
昨年度は図形の定義や性質が定着しておらず、きちんと説明することが難しい児童が多かった。そこで、図形の構成要素に着目し、特徴を捉えて作図したり、授業において言語活動を多く取り入れたりするように指導した。その結果、平行四辺形の作図では、96.3%の通過率になった。

重点課題

- 【課題1】タイプⅡ「数と計算」「数量関係」領域の解決方法の解釈と適用の問題で、ゆみさんと同じ求め方で、空欄を埋めながら言葉で説明する問題に課題がある。(通過率44.4%)
- 【課題2】タイプⅠ「量と測定」領域で、現在使用している教科書の表紙のおよその面積を求める問題に課題がある。(通過率48.1%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題1】文章を読み取ることができず、問題の意図をつかむことができない児童が多いので、文章題を重点的に指導していく。その際、大事なところにアンダーラインを引くことや説明の文の書き方についても指導を徹底して行う。
- 【課題2】授業やドリルタイムなどで低学年で学習した簡単な内容から説き直しをし、基礎基本の学力が確実に身につくように指導していく。それと同時に、学習意欲も高めていく。

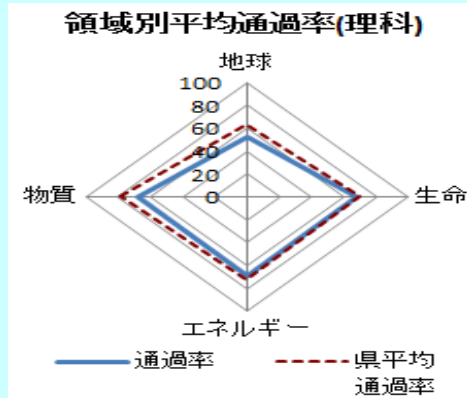
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		H26 基礎基本定着状況調査 (タイプⅡ) 5年生			標準学力 全学年		単元テスト (数学的な考え方領域)
目標値		80.0%			80.0%		80.0%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	H26 基礎基本定着状況調査 (タイプⅠ) 5年生				標準学力 全学年	H26 基礎基本定着状況調査 4年生	単元テスト (知識・理解領域)
目標値	80.0%				80.0%	75.0%	80.0%
実施後数値							

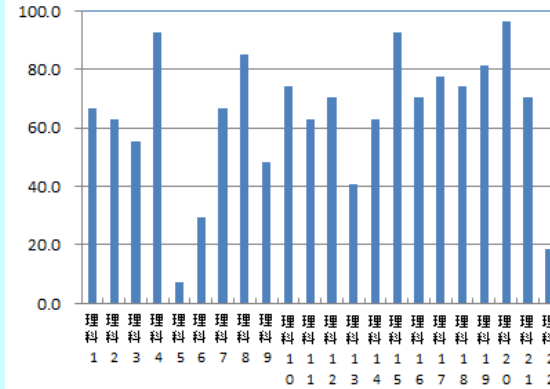
指導方法等の改善計画について [理科]

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校64.0%, 県 70.6%)

領域別平均通過率



三原市立久井小学校



本年度の結果について

○全体的な傾向について
理科の結果において、タイプⅠは69.4%、タイプⅡは48.3%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な内容の方が定着している結果になってはいるが、約70%と低い結果となっている。そして、発展的な内容については、半数以上の児童に定着していないと思われる。しかし、領域別平均通過率をしてみるとどの領域も偏りはない。

○昨年度の課題への取り組みの成果・課題
昨年度は、グラフを適切に読み取る力や身近な自然の現象を自分の言葉で説明することに課題があった。そこで、算数科と関連を図ったグラフを読み取る指導を行った。また、自然現象の目に見えないもののイメージを絵と言葉を使ってまとめる学習をした。その結果、グラフについては、63%と前回は42ポイント上回った。しかし、言葉で説明することについては、18.5%と前回は下回り課題を残す結果となった。

重点課題

【課題1】

- 方位磁針の使い方の問題に課題があった。(通過率7.4%)
- 方位磁針の使い方、方位は読めるが磁針を北に合わせられない児童(解答類型3)が29.6%

【課題2】

- 鉄道のレールの隙間が夏に狭くなる理由を記述する問題に課題があった。(通過率18.5%)
- 夏の日差しでレールが温められることとレールの体積が増えることが説明できない児童(解答類型6)が25.9%

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】

方位磁石の使い方の定着に課題がある。授業の中で、絵や言葉(視覚支援)を使って指導を行ったり、実際に何度も使わせたりする。言葉だけの指導や代表の児童が使うだけの授業にしない。

【課題2】

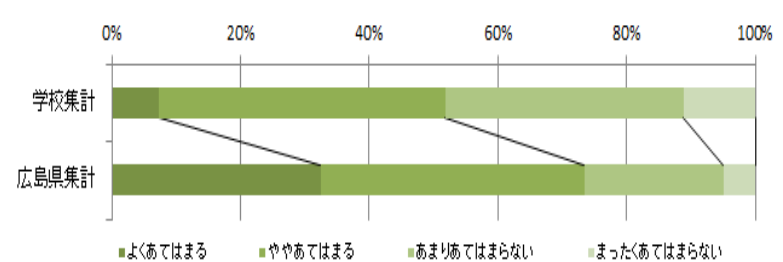
理科で学習したことを実生活に返していくことが不十分である。授業の中で、学習した事象が実生活のどの場面で起こるのか指導したり、実際に起きているところを機会を逃さず観察させたりする。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 単元末テスト			標準学力 3～6学年	4年生 H26「基礎・基本」	3・4・5年生 学年末テスト
目標値		70%			80.0%	80%	80%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法					標準学力 3～6学年	4年生 単元末テスト	3・4・5年生 学年末テスト
目標値					80.0%	70%	80%
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）

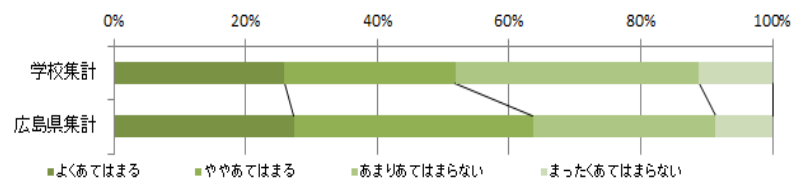
(1) 生活・学習



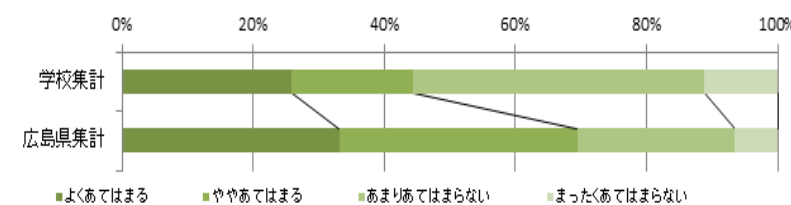
児童の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
○思考力についての課題が大きい。 ・ものごとを解決したり決めたりするとき、なぜそうなるのか理由を考えています。(48.1%)	ペアトークや小集団での活動を通して、自分の考えがもてるように授業の中で場を設定していく。 話型による発表の仕方を提示し、それに沿った考え方ができるようにする。	1年から5年	80%	児童アンケート 教師による観察	12月		

(2) 教科

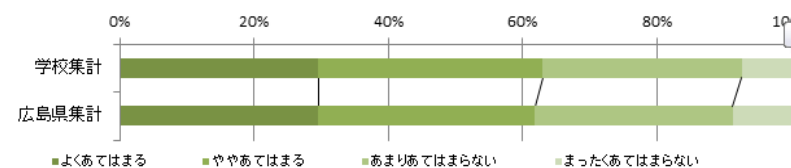
国語の授業の中で学んだことの振り返りをしています。



算数の授業では、式が何を表しているのかを考えたり、式にあてはまる問題を作ったりしています。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



	児童の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	○国語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。(48.1%)	単元の目標や毎時間ごとのねらいを明確にし、毎時間ごとや単元の終わりで振り返りの場を設定する。	1年から5年	80%	児童アンケート 学習ノート	12月		
算数	○算数の授業では、式が何を表しているのかを考えたり、式にあてはまる問題を作ったりしています。(55.6%)	問題の要素間の関係について読み取ることができるように、問題解決のためのスキルを身につけさせる。 ・大事な部分に線を引く。 ・説明の書き方を指導する。	1年から5年	80%	児童アンケート 学習ノート	12月		
理科	○理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。	自分の考えを自分の言葉で表現できる場を設定する。 多様な考えを取り入れたり自分の考えを説明したりすることができるようにするために、小集団での対話の場を設定する。	3年から5年	80%	児童アンケート 学習ノート 教師による観察	12月		